

このメールが正しく表示されない場合は、[ウェブサイト](#)からご覧ください。

AIPPI

e-News No.48

2016年9月12日

本号の内容

- [AIPPI Bureau](#)
- [AIPPI Committees](#)
- [2016年AIPPIミラノ総会](#)
- [政府機関 & NGO](#)
- [記事・解説](#)
- [各国部会](#)

Bureau

[若者との積極的な対話 - 知的財産保護に対する意識高揚](#)

(Felipe Claro, President of AIPPI)

EUIPO 監視部門 (Observatory) の Stephanie Rowland 氏から最近届いた情報によると、去る6月15日～17日、EU各国から60名の若者がアリカンテのEUIPO本部に集まり、知的財産の重要性を欧州の青少年に伝え、意識を高めるための、有効で独創的な方法について話し合い、意見を出し合ったとのことでした。

AIPPI Committees

[特許出願における遺伝資源／伝統的知識の出所または原産国の表示要件](#)

(乾裕介, Assistant Reporter General of the Standing Committee on TRIPS)

AIPPI 本部の Standing Committee 「TRIPS」 (委員長 : Catherine Mateu (フランス)) と、Standing Committee 「知的財産と遺伝資源／伝統的知識」 (委員長 : Konrad Becker (スイス)) が共同で、「特許出願における遺伝資源／伝統的知識の出所または原産国の表示要件」に関する質問票を作成しました。

2016年 AIPPI ミラノ総会

[AIPPI Congress News](#)

今年のみラノにおける第46回 AIPPI 国際総会においても、Managing IP 社に協力いただき、総会の期間中(2016年9月16日~20日)、専用の日刊紙「AIPPI Congress News」を発行することになりました。Managing IP 編集チームの報道ノウハウと、AIPPI の公式イベント情報を合体させた AIPPI Congress News は、世界各国からお越しいただいた影響力のある参加者の皆様に、必要な情報を提供しつつ、楽しくお読みいただける日刊紙です。

[暖かいおもてなしの色へ](#)

夏真っ盛りだったミラノでは、受け入れ態勢が整いつつあります。人々を魅了する文化の香り高い街の景色に囲まれた、現代的で快適な雰囲気のコンベンションセンターにて、皆様の到着をお待ちしています。総会の学術プログラムは、最新のテーマとそれに相応しい講演者によって、日一日と中身の濃いものになってゆくことでしょう。

[最終日の夕食会後はヴォーグ・ファッション・ナイト・アウト](#)

ミラノ総会に参加される皆様には、イタリアファッションのすばらしさを体験でき、本格的なショッピングを楽しむ機会もあります。最終日となる火曜日は、夕食会の終了をもって総会の照明は消されますが、同じ夜、ミラノは有名なファッション誌が主催する [Vogue Fashion Night Out](#) の会場になり、中心街のお店やブティックは一晩中あるいは深夜まで営業します。バルニサージュやパーティーが行われ、音楽が流れる通りは、大勢の華やかな装いの人々でにぎわいます。

[ポケット版プログラム](#)

会場となる MiCo の館内図を含むポケット版プログラムは [こちら](#) からご覧になれます。

政府機関 & NGO

[ALAI - 知的財産法に基づく応用美術に関する国際会議](#)

2016年9月15日・16日 - ローマ

国際著作権法学会（ALAI）の2016年国際会議はイタリアで開催されます。今年は、イタリアの著作権法が1941年4月22日に制定されて75年の節目でもあります。会議は「知的財産法に基づく応用美術 - 美と有用性の不確かな境界」というテーマで、9月15日、16日の両日に開催されます...

[2016年GRUR年次総会へのお誘い](#)

2016年10月12日～15日 - ミュンヘン

[ドイツ知的財産保護協会（GRUR）](#)のバイエルン地域グループより、2016年10月12日～15日にミュンヘンで開催される[2016年GRUR年次総会](#)についてご案内します。今年の総会では、欧州委員会、EPO、ドイツ連邦司法裁判所を含む学界、民間、公的機関からハイレベルな講演者を迎え、ドイツおよび欧州の知財法に関する最新の動向について議論するとともに、今後注目されるテーマについての展望も示します...

記事・解説

[アルゼンチン：商標異議申立における和解のための仲裁による1年の停止効果を廃止](#) (Ignacio Sánchez Echagüe, Marval, O'Farrell & Mairal, Argentina)

アルゼンチンでは、商標出願に対して異議が申し立てられると、審査手続は自動的に中断され、出願人は、異議申立の通知から1年以内に、異議の取下げについて申立人と交渉しなければなりません。そして、和解できなかった場合に出願の期限切れを回避するには、異議申立の却下を求めて裁判所へ提訴する必要があります...

[アルゼンチン：ポリモルフ特許に対する無効請求](#)

(Ignacio Sánchez Echagüe, Marval, O'Farrell & Mairal, Argentina)

Eli Lilly and Co.（以下「Eli Lilly社」）が、統合失調症に関する自社の特許「AR2719B1」

および「253,521」に対する特許侵害を理由に、Laboratorios Beta（以下「Beta 社」）を訴え、それに対し Beta 社が Eli Lilly 社の両特許の無効訴訟を提起した事件において、第 1 審では Eli Lilly 社側の主張を認める判決が言い渡されました...

[オーストラリア：知的財産諮問会議の意匠制度レビューに対する政府の回答](#)

(Lauren John, Allens - Australia)

現在はすでに解散している知的財産諮問会議 (ACIP) は 2012 年、オーストラリアの現行の意匠制度について、ユーザーによるイノベーションを促す上での有効性と、経済成長に及ぼす影響を調査するよう要請され、その調査報告を 2015 年 5 月に出しています。この報告に対する連邦政府の回答が 2016 年 5 月に発表されました...

[オーストラリア：知的財産権を制限しようとする生産性委員会](#)

(Peter Treloar, AIPPI Australian National Group)

AIPPI オーストラリア部会はこのほど、オーストラリアの知的財産制度のあり方に関する生産性委員会の報告案に対して、詳細なコメントを提出しました。生産性委員会が政府に示した長文の報告案は全面的に、さまざまな知的財産権を大幅に制限すべきという、アンチパテントの立場をとっています。オーストラリア部会は、生産性委員会による提言の多くに強く反対する趣旨のコメントを提出しました...

[中国：最高人民法院が発表した 2015 年に全国の裁判所で判決が下された知財事件トップ 10](#)

(Weining Wang and Xiaolin Dang, Beijing Sanyou IP Agency Ltd. China)

I. 知的財産に関する民事事件

1. 石家荘双環汽車 vs 本田技研工業

意匠権者が提起した意匠侵害訴訟と、被疑侵害者が確認判決による救済を求めた訴訟がそれぞれ開始された後も、意匠権者は、被疑侵害者の川下の顧客に対して警告書を送付し続けましたが、この警告書には、侵害の具体的な理由や、法的手続が開始されたという事実が開示されていませんでした...

[インド：バイオシミラーの承認に関する論争](#)

(Neha Srivastava, Remfry & Sagar, India)

トラスツズマブは、Roche and Genentech Inc.が製造する乳癌治療薬で、インドでは Roche Products (India) Private Limited が輸入し、Herceptin、Herclon、Biceltis などのブランド名で販売されています。この薬は圧倒的な市場シェアを占めていますが、2013年に Roche 社がインドにおける特許を失効させる決定をした後、後発医薬品メーカーは、バイオシミラー（バイオ後続品）の製造に乗り出しました...

[日本：2016年の商標審査基準改訂](#)

(協和特許法律事務所 勝沼宏仁)

日本の商標審査基準において、審査結果の予測可能性向上と、審査をより明確でわかりやすいものにするを目的とした 45 年ぶりの改訂が行われ、2016 年 4 月 1 日より施行されました。この改訂は次に挙げるような商標の登録を容易にするためのものです...

[米国：著作権法に基づく費用の裁定において、当事者の主張・抗弁の合理性は重要だが、必ずしも支配的ではない](#)

(Seth I. Appel, Pattishall, McAuliffe, Newbury, Hilliard & Geraldson LLP, USA)

米国最高裁は、[Kirtsaeng v. John Wiley & Sons 事件](#)において、著作権法に基づく弁護士費用の裁定基準を明確にしました。それによると、裁判所は、敗訴当事者が述べた見解の客観的な合理性を相当に重視しなければならないが、同時に関連するその他の状況も考慮すべきであるとしています...

各国部会

[アルゼンチン：特許庁の新長官](#)

(Ignacio Sanchez Echagüe, Marval, O'Farrell & Mairal, Argentina)

アルゼンチン特許商標庁の新たな長官に、Damaso Pardo 氏が 2016 年 6 月 10 日付で

就任しました。Pardo 氏は、教皇庁立アルゼンチンカトリック大学で法律の学位を取得しており（1985 年）、また、ニューハンプシャー大学ロースクール（旧称：Franklin Pierce Law Center）で知的財産修士号を取得しています（1990 年）...

中国：2016 年 AIPPI 日中韓三極会合 - 西寧

(Richard Yi Li, Secretary General of AIPPI China)

2016 年 7 月 16 日、麗江市において第 14 回 AIPPI 日中韓三極会合が、中国、日本、韓国から約 100 名の参加者を迎えて開催されました。最初に中国部会の Tian Lipu 会長が、日本部会の長澤健一会長、韓国部会の Seong-ki Kim 会長、本部 President の Felipe Claro 氏等とともに、参加者・講演者に歓迎の挨拶をしました。続いて、北京高級人民法院・知財法廷の Liu Xiaojun 裁判長、および SIPO の Ji Dengbo 氏が、それぞれ「中国の特許裁判における運用に見られる新たな傾向」、「第 4 次専利法改正の導入」というテーマで基調講演を行いました。今年の三極会合には、1. 各国知財制度の最新情報、2. SEP の権利（支配的地位）の濫用、3. 意匠保護の要件（2016 年ミラノ総会の議題）という 3 つのテーマを選びました。

テーマごとに、3 つの部会の講演者がプレゼンテーションを行いました。

最後に、本部 Vice President の Hao Ma 氏および本部 Secretary General の Laurent Thibon 氏から締めくくりの挨拶があり、三極会合は滞りなく終了しました。

来年は、韓国で 6 月に開催の予定です。

エクアドル：特許関連料金の引下げ

(Maria Cecilia Romoleroux, CorralRosales, Ecuador)

公報 No.822（2016 年 8 月 19 日発行）に公示された、決議 001-2016-CD-IEPI（2016 年 8 月 3 日付）によると、エクアドル知的財産庁（IEPI）は、一部の特許サービスの公的料金を引き下げました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

国際知的財産保護協会 (AIPPI)

AIPPI General Secretariat | Toedistrasse 16 | P.O.BOX | CH-8027 Zurich

Tel. 44 280 58 80 | Fax 44 280 58 85

enews@aippi.org | www.aippi.org

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。

AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。